

Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022
【受賞者のプロフィール等】

藤井 光 (ふじい ひかる)

1976年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。

紛争や事故などの厄災に起因する、あるいはそれにより顕在化した社会構造の不条理を主題に映像インスタレーションを制作する。藤井が設定した、史実にもとづいた出来事の再演や実際的な議論の場をとおして、その主題が我々の日常に潜む諸問題と地続きであることを示す。



《解剖学教室》2020

山城 知佳子 (やましろ ちかこ)

1976年沖縄県生まれ。

出身地の沖縄を舞台に映像や写真を制作。地理的要因により独自の歴史や文化を持つ沖縄の、戦争の継承や戦後の政治的構造について、時には自身も被写体となり、肉体や声など、身体を通じて問題提起する。また、物語性を取り入れることで新たな視座で沖縄を捉え、壮大さと普遍性を獲得している。



《肉屋の女》2012 年版、3チャンネル・ビデオ・インスタレーション
© Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko Chiba Associates